

群馬県高崎市シティプロモーション 2019

タカサキ ギンザ物語

—ジネット・アウの愛する高崎—



2019.11.20 wed - 24 sun 11:00 - 20:00

銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM [GINZA SIX 6F]

タカサキ ギンザ物語

—ジネット・アウの愛する高崎—

高崎市は現在、群馬県の一地方都市という枠を超えて多くの人々を引き付け、日本中そして世界中に「高崎ファン」を増やしています。その象徴的な取り組みとして、高崎とシンガポールの交流が挙げられます。同国との交流は政治・経済の分野だけにとどまらず、文化活動や市民同士の交流にまで広がりつつあります。

シンガポールを拠点に活躍する国際的女優、ジネット・アウ。彼女もまた高崎に魅了され、高崎を愛する「高崎ファン」の一人です

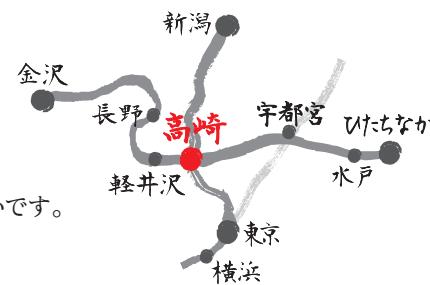
きっかけは、日本・シンガポール・フランスの合作映画「家族のレシピ」。2017年に行われた撮影で、ジネットは初めて高崎を訪れました。彼女は、すぐに高崎を好きになり、そして愛するようになりました。高崎の風景や文化、美しい自然が彼女を魅了し、新鮮な野菜やフルーツなど、高崎の味が彼女を虜にしました。しかし実は、彼女の心を最も動かしたのは、高崎の人のやさしさであり、おもてなしの心でした。

今回のタカサキギンザ物語は、そのストーリーの随所に、ジネット・アウの目線を活かしています。

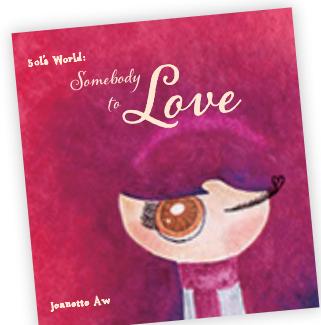
ジネットを引き付けた高崎の魅力とは、いったい何だったのか。

パネル展示やショートムービー、トークショーなど、タカサキギンザ物語を構成するさまざまなストーリーをぜひお楽しみいただき、答えを探してみてください。そして答え合わせは、ぜひ高崎へ—。

今度はあなただけのタカサキ物語をつづっていただければ幸いです。



高崎PR大使 ジネット・アウ



ジネット・アウ 作／画の絵本

展示・企画

1、ジネット・アウ絵本原画展と短編映画上映

ジネットが2015年にシンガポールで出版した絵本「Sol's World: Somebody to LOVE」の原画を展示するほか、高崎で昨年撮影した短編映画「Senses(センシズ)」を常時上映。ジネットがどのような視点・考え方を持ち、高崎の魅力をどこに見出したのかを彼女の作品を通して紹介していきます。

2、ソフトボールシティ「東京2020宇津木ジャパン」

東京オリンピックに出場する女子ソフトボール日本代表を応援しています。日本代表メンバーの半数以上は高崎市に拠点を置く「ビックカメラ高崎」と「太陽誘電」の選手たちです。そして、代表チームを率いる宇津木麗華監督も高崎在住。高崎を拠点に世界に羽ばたく彼女たちが住む「ソフトボールシティ高崎」の魅力を紹介します。

3、高崎芸術劇場

高崎は常にオリジナリティあふれる文化を創造し発信していくというチャレンジングな姿勢を持ち続けています。その拠点として期待される高崎芸術劇場が今年9月に開館しました。国内最高峰の舞台設備や音響を持つ劇場の魅力を紹介します。

4、スイーツなどの販売

高崎は、新鮮で安心安全な食の生産地でもあります。榛名山麓の恵まれた土壌と環境から生まれたフルーツや野菜は、そのまま食べても、スイーツでもおいしさ満点。和菓子・洋菓子をはじめジネット・アウを魅了した珠玉の味を、高崎から直接持ってきます。高崎の伝統工芸品「だるま」もバラエティに富んだ商品を販売します。

5、トークステージ

高崎在住、高崎出身のほか、高崎につながりを持つさまざまなゲストをお呼びして、トークやライブパフォーマンスなどを披露します。俳優、ミュージシャン、映画監督、作家など、さまざまな文化人が登場し、独自の目線で高崎の魅力を紐解いていきます。

特別プログラム

ラジオ高崎、公開生放送“ラジタカシックス”

会場にゲストを招き、特別番組の公開生放送と動画配信をお届けします。

※各日15時～16時 ※観覧無料 ※ゲストは都合により変更になる場合があります

ゲスト出演日時、動画配信URLは、下記Facebook公式ページで発信していきます。
<https://www.facebook.com/Takasaki.CP>



会場 GINZA SIX アクセスマップ



銀座 薫屋書店 GINZA ATRIUM (GINZA SIX 6F)

GINZA SIX 〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目10-1

東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」から徒歩2分

東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線「東銀座駅」から徒歩3分

※東京メトロ銀座駅・東銀座駅・都営地下鉄東銀座駅のB2Fから直結

<https://ginza6.tokyo/>